

学校生活についての子どもアンケートから

子どもたちの「学校生活についてのアンケート」においては、「学校での勉強は、分かりやすい」「学校が楽しい」「自分や友達を大切にしている」「掃除や片付けなど学校をきれいにしている」「健康に気をつけ、給食を残さず食べる」「道具や物を大切にしている」「自分からあいさつする」「学習や遊び時間、掃除時間を切りかえるなど、時間を守っている」の8項目において、プラス評価が90パーセント以上あり、「学校の人や友達から大切にされている」「廊下を走ったり、危険な遊びをしたりしない」「規則正しい生活をする」「家で学校のことなどをよく話す」の4項目がプラス評価80パーセント以上という結果でした。

特に「学校の人や友達から大切にされている」の項目について、前年度の同時期に対して約10%向上していて、「自分や友達を大切にしている」の項目においても、97%以上のプラス評価となり、過去3年間において最も高い数値となっています。自他とも大切に思う気持ちが育ってきていると考えるうれしい限りですが、12パーセントの子どもが自分は大切にされていると「あまり思わない」「そう思わない」と回答しています。全ての児童に大切にされていると感じられるかかわりができる学校を目指し、人権教育等の取組を推進していかなければなりませんと考えています。

また、「廊下を走ったり、危険な遊びをしたりしない」が年々向上してきており、教職員及び児童会の計画委員の子どもたちが朝会で寸劇をするなど、児童に決まりを守ることの大切さについての取組を行っていることの成果が表れてきたように思います。

他の項目に比べ比較的低い数値となっているのが、「学級文庫や図書の本をよく読む」「時間を決めて、計画的に勉強している」「進んでお手伝いをする」でいずれも70%台です。「進んでお手伝いをする」は昨年同時期に対して約10%の向上をしていて、家庭において役割を果たしている児童が増えています。「学級文庫や図書の本をよく読む」については約25%がマイナス評価をしています。学校としては魅力的な図書館経営を行うため、今年度より図書館運営支援員を配置し、夏休みに図書館のリフォームを教職員で行いました。

今後も学校と家庭の連携を図りながら、子どもたちがさらに充実した学校生活が送れるよう、取組を進めていきたいと思いますので、ご支援ご協力をよろしくお願ひします。

■ そう思う ■ 大体そう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

